

平成30年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (中学校)

教科ごとの「教科の観点」・「読み解く力」における平均正答率の比較

松江第四中学校

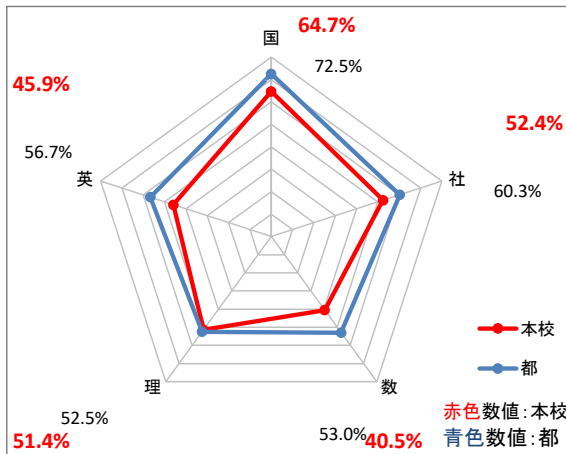
国語	教科の観点						読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	92.5%	68.1%	78.0%	70.5%	70.1%	73.2%	85.8%	64.2%	62.4%	69.2%	72.5%
本校	87.9%	61.6%	74.9%	63.6%	58.8%	65.2%	82.0%	57.9%	50.0%	61.9%	64.7%
都との差	-4.6	-6.5	-3.1	-6.9	-11.3	-8.0	-3.8	-6.3	-12.4	-7.3	-7.8

社会	教科の観点					読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	94.4%	59.9%	57.6%	62.0%	62.9%	62.9%	42.9%	46.8%	50.9%	60.3%
本校	94.9%	55.3%	46.3%	53.6%	55.1%	42.4%	45.5%	40.4%	42.8%	52.4%
都との差	0.5	-4.6	-11.3	-8.4	-7.8	-20.5	2.6	-6.4	-8.1	-7.9

数学	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	77.6%	41.6%	53.9%	58.8%	55.6%	49.6%	49.3%	35.4%	45.4%	53.0%
本校	76.1%	28.1%	36.4%	47.3%	41.6%	34.1%	40.4%	39.0%	37.3%	40.5%
都との差	-1.5	-13.5	-17.5	-11.5	-14.0	-15.5	-8.9	3.6	-8.1	-12.5

理科	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	86.7%	45.7%	61.4%	46.8%	53.4%	78.7%	49.8%	19.5%	49.4%	52.5%
本校	98.0%	43.9%	64.3%	41.3%	52.2%	80.1%	44.1%	22.5%	48.9%	51.4%
都との差	11.3	-1.8	2.9	-5.5	-1.2	1.4	-5.7	3.0	-0.5	-1.1

英語	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	82.6%	31.7%	69.5%	59.3%	60.2%	45.2%	52.9%	37.4%	45.2%	56.7%
本校	83.4%	11.1%	58.1%	50.5%	48.9%	33.1%	45.5%	29.2%	36.0%	45.9%
都との差	0.8	-20.6	-11.4	-8.8	-11.3	-12.1	-7.4	-8.2	-9.2	-10.8



《都との比較にみる本校の状況》

5教科を平均すると、都の平均値より、8.02%下回っている。「関心・意欲・態度」では、理科が都の平均値を11.3%と大きく上回っている。英語と社会に関しては平均値より、それぞれ0.8%から0.5%上回っている。数学と国語がそれぞれ1.5%、4.5%下回っている。「思考・判断・表現」においてはどの教科も下回っているが、特に英語が20.5%数学が13.5%と大きく下回っている。「技能」では、理科が2.9%と上回っているが、他4教科では平均で10.825%下回っている。国語は「読む」において平均値を6.9%下回っている。「取り出す力」では、理科が平均値を若干上回っているが、社会が20.5%、数学が15.5%、英語が12.1%下回っている。「読み取る力」では、社会が平均値を2.6%上回っているが、数学が8.9%、英語が7.4%、下回っている。「解決する力」では、数学と理科でそれぞれ、3.6%、3.0%上回っているが、国語で12.4%、英語で8.2%、社会で6.4%下回っている。

《授業改善のポイント》

読書科を中心に、朝の読書の時間を徹底させる。筆者の気持ちを読み取る力、文章を構築する力を身につけさせる。国語では、それに加えて「読む力」、「書く力」をスキルアップさせていく。
 数学では、数学的用語を理解させ、授業中に使用頻度を高めていく。
 理科では、実験をより増やすと同時に、発表やレポート作成の時間を増やす。また、実技テストを個別に行い、意識を高めていく。
 社会では、地図や資料を活用し、「技能」を高め、単元毎に小テストを行い、「知識・理解」を定着させていく。
 英語では、教科書の本文やその他の英文を「読む力」を伸ばし、その上で要約を作成したり、基本本文を活用して自己表現をさせることを行い、「書く力」を伸ばす。
 また、各教科ともコンテストの活用をしていく。

《家庭・地域への働きかけ》

家庭学習ノートの継続、及び家庭で学習する時間の確保を各ご家庭に呼びかけていく。
 読書の意義や喜びを分かち合える環境を、朝読書やビブリオバトルの活動を通じて継続して行う。